

本日の学び:「ヤコブのベテル帰還」 テキスト:創世記35章1-15節

【理解の手がかりとして】

ヤコブ一家は、折角シケムに土地を購入したのに、息子シメオンとレビの暴虐(34章)により、シケムにいられなくなった。そこで神に言われるままにベテルに移り住むことになる。

神は、ヤコブにベテルに上り、祭壇を築くようにと命令する。この理由について、二つの理由が考えられる。

- ① このままシケムに宿営していたのでは、シメオンとレビによる暴虐が知られて、ヤコブ一家が危うくなるため、彼らを護るために、その地を去ってヤコブの信仰の原点であるベテルに戻るようになさったのではないか。
- ② ベテルに祭壇を築くことによって、次の世代の息子や娘に、また一族に、神を畏れるヤコブの信仰を伝える目的があったのではないか。

神の命令を受けて、ヤコブは家族及び一緒にいるすべての人々に言った。「外国の神々を取り去り、身を清めて衣服を着替えなさい」(35:2)と。ここで言われる「外国の神々」とは、カナンの土着宗教の神々(またその神像)、ラケルが父ラバンのもとから盗んできた像(31:19)を指しているものと思われる。一方「身を清める」とは、34章の殺戮や略奪によって血塗られた衣服(行動)を「着替え」(脱ぎ去る)こと、すなわち罪悔い改めて新しい出発をすることを意味しているものと思われる。⇒エフェソ4:22-24

4節では、人々は、持っていた外国の神々と耳飾りを手放す。耳飾りというのは金で出来ていて、金は偶像を造るのに使われた(⇒出エジプト32:2)ことから、それを手放すことは偶像崇拜から心を離すことと同意であろう。ヤコブはそれらを榿の木の下に埋めた。そうしてヤコブは、自分の一族の信仰を清め、新しい出発をさせたのであった。

5節では、その旅路(新しい出発)を神が助けたことが記されている。そうしてヤコブ一族はベテルに到着する。ベテルはシケムの南約50kmのところにある。ベテルは前にヤコブがエサウの怒りから逃げて野宿した夜に、主から言葉をかけられた場所である(28:10-22)。ヤコブは言われたとおりにそこに祭壇を築き、その場所を「エル・ベテル」(ベテルの神)と名付けた。

続く8節に、ヤコブの乳母デボラの死の話が出て来る。彼女はヤコブにとってとても大切な人物であったのかもしれない。このデボラを葬った榿の木をヤコブが「アロン・バクト(嘆きの榿の木)」と名付けたことから、その失意の深さがうかがえる。

9-13節の内容は、①叔父ラバンがいた地方からのヤコブの帰還を神が祝福したということ、②ヤコブの名前を「イスラエル」に変えたこと、③アブラハムとイサクへの祝福がヤコブへと継承されたこと、の三点である。13節にある「神はヤコブと語られた場所を離れて昇って行かれた」(35:13)とあるのは、アブラハムの場合と同様(17:22)である。そのことから、この記録が、ヤコブの信仰と、それに対する祝福の継承を強調していることが分かる。

14-15節は、28章18-19節と同様の内容である。しかし状況は異なる。28章の場合は、ヤコブ一人の個人

的な出来事であったのに対して、ここ35章の場合には、ヤコブが家族及び一族のものを引き連れており、イスラエル(神が支配される)と名前を変えた後の、集団としての出来事としての記録である。その結果、ベテルは後にイスラエルの重要な聖所となった。「ヤコブが『イスラエル』となった自覚は、ヤボクに始まり、ベテルにおいて確立したのであろう。すなわち、ヤボクにおいては、それは彼一人の秘かなる個人的経験であり、ベテルにてはそれが公的に確認されたものと考えて差し支えないであろう。」(矢内原忠雄)

先週紹介した言葉を再掲する。「神の御前で時を刻み、明確な区切りをつけ、祈りと賛美と感謝と礼拝のうちに、自らの歩みをその都度整理し、新たなる力を得て、次の一步へと旅立つ点にこそヤコブらしさはあったのです。」(左藤章)———本日の箇所においても、主にあってヤコブは再出発をはからせられる。一族の中の大問題の中で、またその社会の中にある様々な関係の難しさの中で、ヤコブ(イスラエル共同体全体)が立ち帰らせられたのは「祭壇」(ベテルという場所)であった。

『聖書教育』より

「約束の地に造られた祭壇で、アブラハム、イサク、ヤコブに現れた神のみを礼拝するということは、その地には異なった神々を礼拝し、多様な文化を持つ人たちが生きているけれども、そのような地においても、神の約束を希望し、イスラエルとしての信仰共同体の歩みを、世代を越えて続けることができるという証しだったのでないでしょうか。」(聖書の学び～神の約束の地で)

「家族や集団の中で、自分だけがキリスト者だという人もいます。共に歩むことの難しさを感じることはありますか？そんな時、どんなことが励ましとなりますか？」(大人クラス)